



【温州みかん】

病害虫防除 *下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょ。

7月下旬～8月中旬

○黒点病 ペンコゼブ水和剤 600倍 166g/水100ℓ 又は

ジマンダイセン水和剤 600倍 166g/水100ℓ

(温州みかん 収穫30日前 4回/温州みかんを除く 収穫90日前 4回)

○ヤノネカイガラムシ(劇) エルサン乳剤 1,500倍 66ml/水100ℓ 収穫14日前 2回

○ミカンサビダニ ダニカット乳剤20 1,500倍 66ml/水100ℓ 収穫14日前 1回

樹別摘果 (大津・青島)

裏年の樹は7月中旬に全摘果しましょう。表年の樹は、この時期の摘果を控え、10月下旬からの仕上げ摘果で上を向いた極大果だけを摘果しましょう。

【不知火・はるみ・湘南ゴールド】

病害虫防除 黒点病の防除が重要となってきます。必ず行いましょう。*温州みかんの項参照(ただし、
収穫前日数には注意すること。)

7月下旬～8月中旬

○ミカンハモグリガ エクシレルSE 5,000倍 20ml/水100ℓ 収穫前日 3回

アザミウマ類

○ミカンサビダニ ダニカット乳剤20 1,500倍 66ml/水100ℓ 収穫60日前 1回

摘果

*不知火・はるみは樹勢維持のため、生理落果が始まったら樹冠上部1/3から1/4を全摘果します。不知火は生理落果終了後に葉100枚に1果、はるみは7月下旬までに葉120枚に1果を目安に摘果します。

*夏季に乾燥を受けると高酸になりますので、灌水や敷き藁を行い、過乾燥を防ぎましょう。

*湘南ゴールドは7月20日時点で果実の横径が20mm以下(1円硬貨程度)と粗皮やス上がり果の発生しやすい表層成りの果実をシンニング(摘果)する方法が有効です。

【キウイフルーツ】

病害虫防除 7月上旬～中旬

○果実軟腐病 ナリアWDG 2,000倍 50ml/水100ℓ 収穫前日 2回

○キウイヒメヨコバイ カイガラムシ類 モスピラン顆粒水溶剤(劇) 2,000倍 50g/水100ℓ 収穫7日前 3回

○カメムシ類発生時 スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 50g/水100ℓ 収穫前日 3回

夏季剪定 止め葉が出る6月中旬ごろより夏季剪定を実施し、棚下の明るさを維持しましょう。

*晴天の日で、土の表面にところどころ日が射す程度

乾燥防止対策 梅雨明け後の乾燥に注意。敷き藁や灌水を実施し、土壌の乾燥を防ぎましょう。

【う め】

病害虫防除 7月中旬～下旬

○黒星病・環紋葉枯病 トップジンM水和剤 1,500倍 66g/水100ℓ 収穫21日前 3回

礼肥の施用 5月下旬～7月中下旬

(目的) 樹勢回復と翌年の花芽充実のため。一番重要な肥料なので、必ず施用しましょう。

梅配合 120kg/10a

【水 稲】

中干し 効果 ① 無効分けつを抑える ② 根の活力を高める ③ 倒伏に強くする
④ 田面を固くして秋のコンバイン等の作業性を高めるなど。

田面に軽くひびが入る程度を目安に、5日から1週間程度行います。(強い中干しはさける)
土壌中に酸素を送り根の健全な生育を促します。茎数が1株20本を超えたら実施しましょう。

追 肥 ※元肥一発肥料を使用した場合には追肥の使用の必要はありません。

幼穂の長さが2cm前後になった頃を追肥時期の目安にしましょう。

キヌヒカリ・はるみ 出穂15日前頃 化成肥料 17-0-17 12kg程度/10a

さとじまん 出穂15日前頃 化成肥料 17-0-17 12~18kg程度/10a

てんこもり 出穂20日前頃 化成肥料 17-0-17 18kg程度/10a

施肥時期の目安(5月25日植えの場合)

キヌヒカリ・はるみ 7月22日前後 てんこもり 7月22日前後 さとじまん 7月30日前後
葉色が濃い場合や茎数が多い場合は倒伏につながる為、追肥時期を遅らせ施肥量を減らしましょう。

出穂期の目安(5月25日植えの場合)

キヌヒカリ・はるみ 8月6日頃 てんこもり 8月11日頃 さとじまん 8月13日頃

病害虫防除 7月中旬~下旬

- 紋枯病 リンバー粒剤 3~4 kg/10a 収穫30日前 2回
モンカット粒剤 3~4 kg/10a 収穫14日前 3回
出穂30日前~出穂期に、株元にかかるよう散布
- イネツトムシ パダンバツサ粒剤(劇) 3~4kg/10a 収穫30日前 5回 又は
ウンカ類 スミチオン乳剤 1,000倍 100ml/水100ℓ 収穫21日前 2回
ニカメイチュウ (※但し、ウンカ類はヒメトビウンカのみ)
- イネツトムシ パダン粒剤4(劇) 3~4 kg/10a 収穫30日前 6回 常発地区は必ず散布

※縞葉枯病の症状が出ている株を発見したら、株ごと抜き取り園外廃棄を行いましょ。

中後期除草に使用する2,4Dアミン塩について、有効分けつ終止期~幼穂形成期前まで、収穫60日前までとなっています。収穫前日数については十分注意しましょう。

【お 茶】

病害虫防除 *下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょ。

6月下旬~7月上旬

○輪斑病・新梢枯死症 カスミンボルドー 1,000倍 100g/水100ℓ 摘採14日前 2回

※剪整枝後、出来るだけ早く(3日以内)散布する。

7月中旬~7月下旬

○チャノミドリヒメヨコバイ コルト顆粒水和剤 3,000倍 33g/水100ℓ 摘採7日前 2回

チャノキイロアザミウマ

チャトゲコナジラミ

※夏整枝後、2週間を目安に散布する。

① 二番茶を摘採した場合の管理

整枝作業 整枝時期 二番茶摘採10日後を目安に、遅れ芽が出揃うのを待ってから行いましょ。

整枝位置 二番茶の摘採面

※整枝を怠ると摘採面が不揃いになりやすく、来年の一番茶の減収を招きやすいので、必ず行いましょ。

② 二番茶を摘採しない場合の管理

整枝作業 整枝時期 7月上旬を目安に、二番茶芽が出揃うのを待ってから行いましょ。

整枝位置 一番茶摘採面の2~3cm上で行いましょ。ただし、二番茶芽が病害虫の被害で十分に生育しなかった場合は、一番茶摘採面より数cm下で整枝します。

*整枝を怠ると芽数が少なくなり、株面の枝が不揃いになるため、来年の一番茶の減収を招くので、必ず行いましょ。